



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ
2010～2011年度
RI会長 レイ・クリンギンスミス

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：田中 隆義
幹 事：加納 裕
クラブ委員長：梅村 昌孝
例会 日：毎週木曜日 PM12:30～
会 場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rcj.jp
URL：http://www.mizuho-rcj.jp/

第1490回例会

～ロータリー理解推進月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2011年1月27日(木) 曇 第27回

司 会：杉村建二会場委員
斉 唱：「日も風も星も」「四つのテスト」
ゲ ス ト：米山奨学生 楽怡さん

会長挨拶

田中隆義会長



皆さん、こんにちは。先週は脳卒中の話を致しました。復習いたしますと、脳卒中には「脳梗塞」「脳出血」「くも膜下出血」の3種類があり、それぞれ原因が違います。発作を起こしたら死亡するか、例え一命を取り留めてもその後遺症のため多くの方が「車椅子」や「寝たきり」の生活を送ることになります。脳卒中の発作は、交通事故のようにいつ起こるかわかりません。しかし、一時的な半身麻痺や手足のしびれ、めまい、物が二重に見える、言葉が出てこないなど、発作の前触れが起こることがあります。これは脳の血管が一時的に詰まるために起こるもので、この時期に検査をすると異常を見つけることができますが、実際は困難なこともあります。今日は脳卒中の予防の話を致します。

「くも膜下出血」は脳動脈瘤の破裂によるものですので、前もって動脈瘤があるかないか検査で調べることができます。動脈瘤がなければ、「くも膜下出血」は起こらないし、もしあっても5ミリ以下の小さな動脈瘤は経過を見て、心配があれば、手術などで破裂を予防することが可能となります。

「脳梗塞」や「脳出血」の予防で大切なことは血圧をコントロールすることです。特にこの時期には、家にいても寒いトイレや風呂に入るときは血圧が急に上がるため注意が必要です。高血圧の予防には、塩分を取りすぎないことです。塩分を取りすぎると、体内の塩分の濃度を下げするためにたくさんの水分を血管内に吸収し、血液の量が増え血圧が高くなります。野菜や果物に多く含まれるカリウムには、塩分を出す働きがあるため、これらの食品を多く摂ることも必要です。食事は「マゴワヤサシイ」を食べると良いといわれています。マは大豆などのマメのマ、ゴはゴマのゴ、ワはワカメなどの海草類のワ、ヤは野菜で緑黄色野菜のヤ、サは魚のサ、シはシイタケなどのきのこ類、イは芋類です。

他の病気との関係では、コレステロールや中性脂肪の多い脂質異常症は動脈硬化を促進し、脳梗塞になりやすくなります。糖尿病の人は、脳卒中で死亡する率が正常な人の2～3倍といわれています。心臓病の人は心臓の中にできた血のかたまりが脳の血管

に詰まって脳梗塞の原因となります。いわゆる生活習慣病の予防が脳卒中の予防となります。厚生労働省の発表によりますと、脳卒中の危険因子として生活習慣では、たばこを1日40本吸う人は、吸わない人に比べて4倍脳卒中で死亡しやすいといわれています。その他、酒の飲み過ぎ、運動不足、肥満、ストレスなどがあげられています。私のような凡人には「言うは易く行い難し」ですが、時々思い出してみたいと思います。この寒い時期、皆さんもご自愛ください。

出席報告

稲垣 豊出席委員

会員66名 出席49名 (出席計算人数52名)

出席率 81.7%

1月20日は補填により 96.6%

ニコボックス

稲垣 豊ニコボックス委員

・ネクタイを忘れました。ついでに妻の誕生月も忘れました。

岡村 達人さん

幹事報告

加納 裕幹事

- ・本日13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて地区大会実行委員会第2部会を開催致します。
- ・次週2月3日(木)名古屋東急ホテル3階「錦の間」にて持ち出し例会を開催致します。
- ・次週2月3日(木)13時40分より名古屋東急ホテル3階「梅の間」にて第5回クラブアッセンブリー、第8回理事会を開催致します。

卓話

大嶽達郎さん



今年の5月で入会して丸3年となります大嶽達郎でございます。私は建築の設計の仕事をしているので、実は大変失礼ながら台湾に行ったことがないのですが、台湾の建築の話を見せていただくことにしました。

台湾の統治国は中華民国、首都は台北市、台北の人口は260万人、国土面積は35,980km²です。九州が42,190km²ですから、それを一回り小さくしたくらい大きさですが、人口は約2,300万人。九州が約1,300万人ですので、人口は台湾の方が倍近くになります。

まず海底図をご覧ください。断層がありまして、それによって日本と同様大変地震が多いところですが、また台風も年に3～4個上陸するほど多く、建築的には地震あり台風ありという過酷な条件であり、構造基準も厳しいものになっております。

これは未開拓時代の建物です。上の写真はタイヤル族、サイシヤット族で彼らは高床式の住居を造っておりました。下の写真はおそらく高砂族(高山族)だと思われます。鉄砲を持って軍隊のような格好をしておりますので、日本統治時代までこのような家に住んでいた民族がいたという事がわかります。

次にオランダ・スペインの統治時代にできた建物です。オランダは1624年に台南の安平を占領しました。スペインは1626年に台北に入り淡水を占拠しました。その後、1642年にオランダがスペインを破り1662年まで統治をすることになります。この建物は淡水にあります“紅毛城”という建物で、スペイン人が建てたものを、そのスペインを破ったオランダ人が再度作り直したものです。ヨーロッパのお城のような跡が残っています。オランダは台南にゼーランジャ城、プロビンシア城、市街などを築き上げました。これは台湾の最初の都市計画と大規模建物の建設だと言われています。

次に明の鄭成功の時代に入ります。鄭成功は台湾に元々住んでいた漢人の助けを借りてオランダに勝利しました。その後オランダの貿易産業を継承すると同時に中国の法令制度や建築技術に習い学校などを建て、またオランダ人の残した街区を再生させました。鄭成功の働きは漢人の文化が台湾に根を下ろすきっかけとなったそうです。

こちらは清の時代の一般の住宅の模型です。その頃、中国の清から東西南北4つに囲まれ中庭がある“四合院”という建築様式が伝わりますが、台湾は中国ほど土地が広くないので、三方を囲って一つを門にする“三合院”という形で広まりました。こちらは、“保安宮”という建物です。振り返った屋根やきれいな装飾があるのが特徴の“閩南様式”で建てられており、台湾にはこのような建物がたくさん存在します。



日本統治初期は環境改善のために下水道整備が行われ、その後、道路計画を主とする市街地の改善と本格的な都市計画事業へと移行していきました。建築物の整備は台北を統治するための重要な施設である総督府から始められ、次に教育推進のための学校建築、経済発展のための産業関連の建築が進められました。その一方で台湾に来る日本人のための住宅や宗教施設も順次建設されていきました。西洋様式を吸収し、かつ台湾の風土に適応した建築が求められ、統治初期に建てられた官庁などは維新を示すために歴史様式を持つものが主でした。その後は様式や装飾を排除したモダニズムへと移行していきました。台湾総統府は日本の統治時代の象徴といわれる有名な建築物で、現在も残っております。

これは日本の“新宿御苑”で閩南様式で建てられています。日本の統治時代に後の昭和天皇となる皇太子様のご成婚を記念して台湾在住邦人から送られたものとされています。新宿御苑は空襲

でほとんど焼けてしまったのですが、この建物ともう一つだけ残っており、それらを今でも見学することができます。

次に現代の建物の紹介です。“高雄85ビル”という高雄にある85階建てのビルです。現在では“台北101”が最も高いビルですが、これが建てられた1997年当時、台湾で一番高い建物でした。分速600mという超高速エレベーターで1階から最上階まで43秒。74階の展望台は300円で入れるそうです。そして先程話に出ました“台北101”です。2004年に完成し、最頂部509.2m、101階建てで完成当時は世界一高い建物でした。エレベーターは更に速い分速1010m、それまでは横浜のランドマークタワーのエレベーターが世界最速記録を持っていたのですが、それを抜いて2004年にギネスブックに認定されました。香港でも同じですが、台湾も「8」という数字は縁起が良いとされており、そのためこの建物には8つの節が作られました。ただ、この節は四角いいため大変風の力を受けやすく、風による揺れを抑えるために免震構造になっております。これが揺れを抑える制震構造のためのダンパーです。こちらはカウントダウンの時の花火の様子です。日本でなら消防が許さないほどの派手な花火ですが、この8つの節から打ち上げております。

台湾の建築物は日本の建築家が多く設計しており、これは高松伸さんという建築家が建てた高雄の地下鉄の駅です。天井には綺麗なステンドグラスもあります。こちら高松さんの設計した台北のツインタワー“ブラック・パール”という建物で、ガラスの接合部1つ1つにLEDの電気が付いています。これは伊東豊雄さんという有名な建築家の設計で、高雄の陸上競技場です。屋根の全面にはソーラーパネルが張り巡らされています。座席は4万席あり最大で5万5千人まで収容できます。

日本は建築がかなり冷え込んでおりますが、台湾は上半期の建築許可が76.8%増えており、大変建築の世界に元気があるなという印象です。3月には私も台湾に行かせて頂きますので、時間があれば色々な建物を見て参りたいと思っております。



例会のご案内

■今週の卓話 2月3日(木) 持ち出し例会

場 所：名古屋東急ホテル3階「錦の間」

卓話講師：紺野治療院 鍼灸マッサージ師
紺野哲生さん

テ - マ：身体が楽になるスイッチ
(セルフマッサージ編)

■次週の行事 2月9日(水) 4RC合同夜間例会

場 所：名古屋観光ホテル3階「那古の間」

時 間：18:00~20:00

■次々週行事 2月17日(木) 西名古屋分区IM

場 所：名古屋観光ホテル

時 間：新人研修セミナー 15:15~16:00
式典並びに講演会 16:20~19:40